

学校給食と学力の関連および食育
における重要性について

高子 秀明



関係が見られ、朝食は学力により影響を与えていると推察される。

〔質問〕白石市食育推進プランの重要施策としての目標「朝食欠食者の減少を目指す」について、特に児童・生徒の朝食欠食は学力と密接な関係があることから、推進目標の進捗度を示した上で所見を伺う。

〔答弁〕「教育長」児童・生徒の朝食欠食については、教育委員会としても、生活習慣上大変重要な問題だと認識している。昨年度よりも朝食を全く食へない児童・生徒は、改善傾向にあることが今年度の調査で分かった。

〔質問〕学校給食とは、食生活・食文化を通して自ら学ぶ態度を教科課程に波及し、学力との関連性において重要であることを評価しているか。

また、児童・生徒が学校給食と食育について深く理解し、成長とともにその意味・目的を次世代へ継承していく好循環について、市長の見解を伺う。

〔答弁〕「市長」児童・生徒において、朝食を取ることで体の栄養、脳の栄養に影響し、学力の差にも関係が生じると言われていることから、食事の内容を考え、バランスの大切さを食に関する指導で行なっている。

本市におけるマイナンバーカードの
普及・利活用について

大森 貴之



11月末時点で、2千812件の登録である。

〔質問〕交付枚数と交付率を伺う。

〔答弁〕「市民生活課長」補佐「令和4年11月末現在、1万4千90枚、交付率は44%である。

〔質問〕普及促進のため、独自の事業計画が必要と考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕「市民生活課長」補佐「郵送のほか、インターネット申請のサポート、月2回午後7時まで交付窓口を開設。月1回から2回程度、休日交付窓口を開設している。

〔質問〕健康保険証への機能登録をされた方の数を伺う。

〔答弁〕「健康推進課長」

るが、令和4年度中に合計29手続きでマイナンバーカードを活用した申請が可能となるよう進めている。

〔質問〕マイナンバーカードの健康保険証利用が可能な医療機関数と薬局数を伺う。

〔答弁〕「健康推進課長」市内では病院が1カ所、医科診療所が6カ所、歯科診療所が2カ所、薬局が18カ所である。

〔質問〕マイナンバーカードは全住民が所持し、多くの場面で利活用できることが望まれる。

先進都市になるべく、さらなるまちづくりに向け前進すべきと考え、見解を伺う。

〔答弁〕「市長」将来の費用負担を勘案しながら、行政や地域社会のデジタル化に向け、取り組んでいきたい。